会員はもちろんのこと、社員の参加も大歓迎です！

愛媛県中小企業家同友会　**四国中央支部　２月例会**

愛媛県の経営環境の特徴

～ＥＤＯＲ（景況調査）を どう企業経営にいかすのか～

報告者

曽我　亘由（のぶゆき）氏

愛媛大学社会共創学部　教授

愛媛県中小企業家同友会　会員

〈報告要旨〉

愛媛大学総合地域政策研究会と愛媛県中小企業家同友会は共同で県内中小企業を対象とした景況調査を２００３年より実施してきました。この調査は、当初松山市からの委託研究（「松山市域における中小企業育成、活性化策の研究」）の一環として進めてきましたが、２００４年度より愛媛大学の研究開発支援経費を受けて継続しています。現在、第５５回目（２０１６年１０月～１２月期）の調査を終え、データも相当の蓄積が進んできました。

日銀短観と並んで四半期毎の景況調査は特筆すべきものがあります。景況調査の目的は、行政への政策と経済政策への活用です。

今回は景況調査を通じて見えてくる地域経済の現状について課題を明らかにし、どう企業経営にいかすのかを報告していただきます。

〈報告者プロフィール・研究課題〉

■神戸大学経済学研究科博士後期課程　単位取得満期退学

■博士（神戸大学 理論経済学）

市場経済の形質を決める要因として情報が重視されるようになっている。しかし、経済分析はその帰結を理解するに足る分析をまだ提供できていない。科学技術の発展などによって、これまでには得られなかったような情報が得られるようになった場合に、市場経済はそれにどのように反応するかについての分析、研究。

☆日　時　２０１７年２月１５日（水）

１８：３０ ～ ２１：００

※申込締め切り:2月10日(金)

☆会　場　ホテルグランフォーレ

☆参加費　無料

※参加申し込みは、ｅ．ｄｏｙｕまたはＦＡＸ（同封の出欠返信用紙）にて事務局までお申し込みください。

同友会事務局　松山市大可賀２－１－２８　アイテムえひめ３Ｆ

ＴＥＬ０８９－９６８－３１１２　ＦＡＸ０８９－９６８－３１０７

ゲストや社員の方が参加される場合は、事前に事務局まで参加者名をご連絡ください。